

第33回「医療放射線の安全利用研究会」フォーラム

主 催：医療放射線防護連絡協議会

1. 日 時：平成24年3月2日（金）10:00～16:15
2. 場 所：東京都江戸川区民ホール（タワーホール船堀5階「小ホール」）
江戸川区船堀4-1-1（電話：03-5676-2211）
地下鉄・都営新宿線「船堀」駅下車 北口（徒歩1分）
3. テーマ：「福島原発事故から355日を経ての体験・経験と反省から
医療の放射線安全教育を考える

4. 趣 旨：

福島第一原発事故から355日を経て、この期間に多くの放射線安全・医療放射線の関係者が想像を絶する体験・経験を受けております。今、この福島原発事故を契機に、国民は放射線・放射能に対する新たな認識が生まれ、正しい理解が求められています。

そのため、医療分野での放射線安全利用に対しても、これまで以上に放射線安全の対応が重要、不可欠な状況です。とくに、原発事故に際して、医療関係者の情報・知識の不足や不十分な理解から、不安と混乱が一部で起きました。

今回は、これらの反省と教訓から学び、医療関係者の放射線安全に関する教育の在り方、医療放射線安全の今後の対応について皆様と考えます。

5. プログラム：

10:00～12:00

開催挨拶：佐々木 康人（医療放射線防護連絡協議会会長）

I. 福島原発事故の対応経験と反省から

基調講演：「福島第一原子力発電所サイト内医療と被ばく治療の考え方」

（講演時間40分）

衣笠 達也（三菱重工業株式会社 神戸造船所）

話題提供：（各20分）

1. 福島県内の汚染と除染

多田 順一郎（放射線安全フォーラム）

2. 食品の放射線安全

山口 一郎（国立保健医療科学院）

（昼食）

13:00～16:00

II. 反省から学ぶ医療関係者への放射線安全教育

基調講演：「一般の方に伝えるべき放射線影響とは」（講演時間40分）

神田 玲子（放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター）

話題提供：（講演時間各20分）

1. 一般医師及び放射線科医への放射線安全教育

大野 和子 (京都医療科学大学)

2. 医療関係者および市民への放射線安全教育

菊地 透 (自治医科大学)

Ⅲ. 総合討論 14時45分～16時10分

指定発言：数名

閉会開催：菊地 透 (医療放射線防護連絡協議会総務理事)

- ◆ 参加費：3,000円 (講演要旨集代含む)
- ◆ 申込方法：FAX. またはEメールでお申し込みください。
- ◆ 申込先：医療放射線防護連絡協議会 事務局
〒113-8941 東京都文京区本駒込 2-28-45 日本アイソトープ協会内
Fax：03-5978-6434 TEL:03-5978-6433(月・水・金のみ)
E-mail：jarpm@chive.ocn.ne.jp